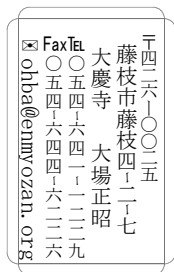


郵便はがき



東海道音楽祭

- ◆期日 5月3日(祝 木)
- ◆時間 10時～14時30分
- ◆予定 コンサート

■■■■ 同時開催 ■■■■

毎月3日開催の「おかげさん」

- ・マーケット
- ・寺カフェ
- ・フード
- ・カレーリレー
- ・ワークショップ
- ・リラクゼーション

今年も「東海道音楽祭」開催
左記の通りゴールデンウィークに「東海道音楽祭」を開催します。大勢の人が訪れます。どうぞご来寺下さい。

記

- 期日 5月3日(祝・木)
- 時間 10時～14時30分まで
- 場所 大慶寺本堂・境内・客殿

気になっていたことが一つ解消

先月誕生日を迎え、晴れて65歳、年金受給者の仲間入りを果たした。生きていく上で年金受給は有り難い。思えば、日蓮聖人の享年は61。日蓮聖人より長生きできていること自体に感謝しなければならぬと今更ながら思う。

そして、更に感謝しなければいけないのは、宗祖降誕八百年記念事業が順調に進んでいること。図面の細部変更や建築許可の遅れ等で予定より3ヶ月遅れとなったが、いよいよ第1期工事が始まった。予定では本堂耐震・改修工事終了が7月末日、庫裡の完成が9月末日となっている。

先月初旬、現庫裡の解体工事を始めたが、客殿と庫裡が繋がって

いるので不具合が生じた。客殿側の風呂の水が出なくなる。客殿の廊下とトイレから雨漏り。セコムの誤動作等。それでも中旬には庫裡もきれいに解体され、整地も済み、基礎工事が始まった。

また、本堂工事では、現在、床下の基礎強



化工事を行っている。本堂の床下は1m 50cm位ある。そのため昭和2年の完成以来、物置として使用されてきた。今回、基礎を打ち直すので、床下に置かれていた物をすべて本堂の外に出さなければならぬ。これが結構あるのだ。昔の障子や襖等から始まって看板、材木、端材、行軍用道具等。

とところで、この床下に関して、前々から不思議に思っていたことがあった。床下を物置代わりに使っていたためか、貫（ぬき）が無

いとところが多いのだ。（写真参照）木造建築では、貫は水平方向の固定に用いられ、壁、床下の補強

などに使われている。貫を通す穴が柱に空いているから、最初は貫があつたはず。いつの時から、物の

出し入れ、通行に邪魔だからと取ってしまったのであろう。貫をつけると、物を保管できる場所が限られてしまうが、本来あるべきもの。今回の工事では貫を復元してもらおう。これで自己満足的であるが、なんかホッとして一安心である。